

# 設立趣旨書

## 1 趣旨

設立趣旨書は、NPO法人を設立したい趣旨や、これまでの活動状況、法人化後の活動の展望などについて、第三者に説明するものです。

そのため、専門用語や難解な用語は避け、誰が読んでも分かりやすいよう、下記の項目を参考に具体的かつ簡潔に記載してください。

(記載するときの考え方)

- ・NPO法人として取り組んでいこうとしていることに対する社会の現状や背景
- ・その現状や背景についてどのような問題があると考えているか
- ・その問題についてどうなるのが望ましいと考えているか
- ・その問題に対してのこれまでの取り組みの説明（活動実績があれば）
- ・問題点と望ましい状態に対して、今後どう取り組んでいこうと考えているか  
またその取り組みがどのような公益につながるか
- ・法人格が必要となった理由

## 2 申請に至るまでの経過

NPO法人の設立を発起し、申請に至った動機や経緯  
(活動実績がある場合は、これまで取り組んできた具体的活動内容)  
(箇条書きでの記載も可)

(例)

- 令和〇〇年〇月 地域住民を中心に、任意団体〇〇〇を立ち上げ、活動を開始する。
- 令和〇〇年〇月 活動の充実や他機関との連携において、団体内部で団体の運営体制強化の必要性の声が高まり、法人格の取得を検討するための勉強会を月1回のペースで開催する。
- 令和〇〇年〇月 活動の充実による社会的責任を果たすべく、特定非営利活動法人の設立に向けて準備会が発足し、設立総会の準備に入る。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

特定非営利活動法人 □□□□□  
設立代表者 住所又は居所 高知県高知市〇〇町〇番地  
氏 名 土佐丸 太郎